

安全報告書



平成29年度版

いすみ鉄道株式会社

1 ご利用のお客さま、地元の皆さまへ

当社は、鉄道事業者としてお客様を安全に正確で、快適に目的地へお運びすることを最大の責務として経営を行っております。その中でも安全の確保は交通事業者としての最優先事項であり、原点でもあります。当社では創業以来この原点である安全を社員一丸となって守り、継続してまいりました。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保のためいすみ鉄道が行っております取り組みや安全の実態について、皆さまに広くご理解いただくために公表するものです。

これからも、いすみ鉄道は地域の皆様方の足としては勿論のこと、観光でいらっしゃるお客様の足として地域に根付いた輸送サービスを積極的に取り組み提供してまいりますので、ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

いすみ鉄道株式会社
代表取締役社長 鳥塚 亮

2 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。運転の安全規範を次のように定め、社長以下従業員全員に周知・徹底し業務の遂行にあたっております

運転安全規範	
【綱 領】	
①	安全の確保は、輸送の生命である。
②	規程の遵守は、安全の基礎である。
③	執務の厳正は、安全の要件である。
【一般準則】	
①	規程の携帯 従業員は、常に運転取扱いに関する規程を携帯しなければならない。
②	規程の理解 従業員は、運転取扱いに関する規定をよく理解していなければならない。
③	規程の遵守 従業員は、運転取扱いに関する規定を忠実に、かつ正確に守らなければならない。

④	作業の確実	従業員は、運転取扱いに習熟するように努め、その取扱いのあるときは、最も安全と思われる取扱いをしなければならない。
⑤	連絡の徹底	従業員は、作業にあたり関係者との連絡を密にし、打合せを正確にし、かつ相互に協力しなければならない。
⑥	確認の励行	従業員は、作業にあたり必要な確認を励行し、憶測による作業をしてはならない。
⑦	運転状況の熟知	従業員は、自己の作業に関係のある列車の運転時刻を、知っていなければならない。
⑧	時計の整正	従業員は、職務上使用する時計を常に整正しておかなければならない。
⑨	事故防止	従業員は、一致協力して事故の防止に努め、もって旅客及び公衆に傷害を与えないように最善を尽くさなければならない。
⑩	事故の処置	従業員は、事故が発生した場合、その状況を冷静に判断し、すみやかに安全適切な処置をとり、特に人命に危険の生じたときは、全力を尽くしてその救助に努めなければならない。

(2) 安全目標

メインテーマ 『お客様の死傷事故「ゼロ」』 を目指す。

列車衝突・脱線事故	お客さまの死傷の関する事故を発生させない
人身障害事故	発生0件を目指す
踏切障害事故	発生0件を目指す

3 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 鉄道運転事故

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事故件数	2	0	2	0	0
死傷者件	1	0	1	0	0

(2) 災害（地震や暴風雨等）

平成29年度は4件発生しました。

- ・ 9月28日、低気圧の影響で、雨量計が規制値に達し、初列車より運転を見合わせた。その後、線路点検を実施した結果、安全の確認が取れ運転を再開した。
- ・ 10月22日、台風21号の影響で、雨量計が規制値に達し、運転を見合わせた。その後、線路点検を実施した結果、安全の確認が取れ運転を再開した。
- ・ 10月29日、台風22号の影響で、雨量計が規制値に達し、運転を見合わせた。その後、線路点検を実施した結果、安全の確認が取れ運転を再開した。
- ・ 1月22日、降雪による倒竹が発生したため、終日運転を見合わせた。
翌日、倒竹の撤去と線路点検を実施した結果、安全の確認が取れ運転を再開した。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延及び運休）

平成29年度は5件発生しました。

- ・ 9月28日、低気圧の影響で、雨量計が規制値に達し、初列車より運転を見合わせた。その後、線路点検を実施した結果、安全の確認が取れ運転を再開した。
この影響により運休11本、4本に10分～5分の遅延が発生。
- ・ 10月22日、台風21号の影響で、雨量計が規制値に達し、運転を見合わせた。その後、線路点検を実施した結果、安全の確認が取れ運転を再開した。
この影響により運休36本、2本に8分～5分の遅延が発生。
- ・ 10月22日、台風21号の影響で、上総東駅構内の転てつ器不転換が発生した。直ちに現場に赴き点検、修理を実施した。
この影響により、8本に42分～5分の遅延が発生。

- ・ 10月29日、台風22号の影響で、雨量計が規制値に達し、運転を見合わせた。その後、線路点検を実施した結果、安全の確認が取れ運転を再開した。
この影響により運休8本、15分～5分の遅延が発生。
- ・ 1月22日、降雪による倒竹が発生したため、終日運転を見合わせた。
翌日、倒竹の撤去と線路点検を実施した結果、安全の確認が取れ運転を再開した。
この影響により運休19本、6本に32分～10分の遅延が発生。

(4) インシデント（事故の兆候）

平成29年度の発生は、ありません。

4 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全のための施策

安全の維持向上のために、毎年、車両や施設の維持管理を計画的に実施しています。

- ・ 車両については、いすみ350形、キハ28形の重要部検査を実施しました。
- ・ 設備整備は経年劣化が進んでいる木製マクラギ920本を同種マクラギに交換し、設備の維持と安全輸送の確保、乗り心地の改善に努めました。
- ・ 電気設備では、老朽踏切しゃ断機の更新を実施、保安度及び通行車（者）の安全確保の向上を図りました。
- ・ 平成30年1月に国土交通省関東運輸局による保安連絡会議に出席、「工夫を凝らした安全運行に係る取組み」について討議、各社共通認識を図りました。

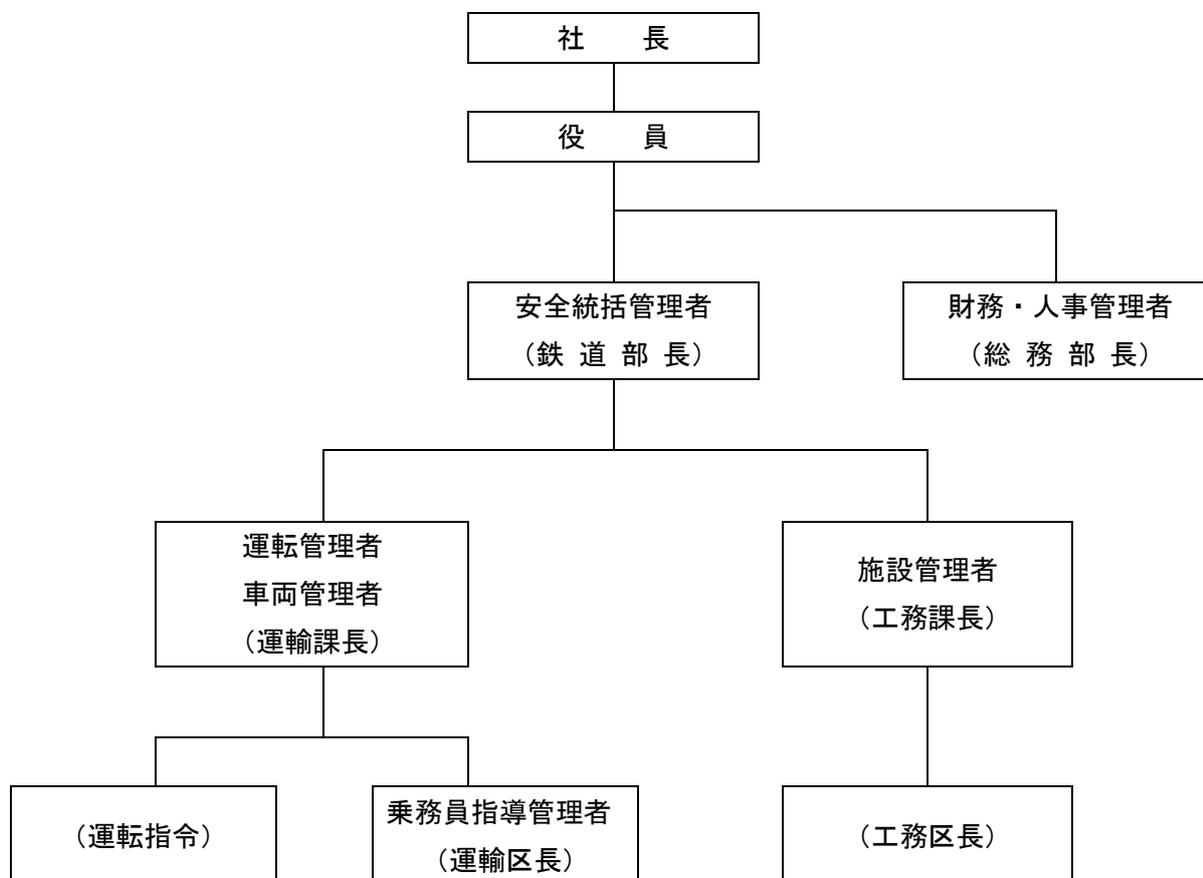
(2) 緊急時対応訓練

8月30日に事故発生時の連絡簿を確認するとともに、この連絡簿を基にした伝達訓練を実施しました。

9月1日の防災の日には、地震発生を想定して営業列車に対し、運転指令より無線による緊急停止訓練等を実施しました。

5 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者を明確にしています。



役 職	職 務 内 容
社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行、運転士の資質を保持する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
財務・人事管理者	安全統括管理者の指揮の下、設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

6 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

いすみ鉄道株式会社 Tel 0470-82-2161 FAX 0470-82-2249

URL <http://www.isumirail.co.jp> e-mail mail@isumirail.co.jp